日刊工業新聞(2018年9月27日　木曜日　掲載)「地域に貢献する四国企業」

地域に貢献する四国企業

―第７回 四国でいちばん大切にしたい会社大賞　受賞企業訪問―

今回、27、28日の2日間にわたって取り上げる企業は、いずれも2018年2月に開催された「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」の受賞企業。同賞は「四国の企業で、社員や顧客、地域から必要とされ『大切にしたい会社』と思われている企業等」を表彰するもので、四国地域イノベーション創出協議会、四国産業・技術振興センター（STEP）、産業技術総合研究所（産総研）四国センター、中小企業基盤整備機構（中小機構）四国本部が主催し、四国経済産業局など四国の29の関係機関が後援している。人口減少、生産年齢人口減少、少子高齢化という潮流の中、四国の企業はいずれも人手不足であり、人材確保・定着が最大かつ喫緊の課題であるが、そのような中でも、社員と経営理念を共有し、多様な働き方に合わせて社員満足度を高め、また地域との関わりを大事にして、業績を伸ばしている企業もある。そこで、中小機構四国本部が同賞を受賞した3社を訪問。現場リポートとインタビューを通して事業戦略や社員を大切にする取り組みなどについて紹介してもらった。

中小機構四国

現場リポート

中小企業基盤整備機構
四国本部長
福本　功

従業員の意見を経営に反映

同賞は、四国イノベーション創出協議会の事業として、2011年度から始まり、18年度で8回目を迎えることとなります。「イノベーション」は従来「技術革新」とされていましたが、広義には「社会の変革」を表すことから企業経営における経営革新にも着目し、企業活動全般を顕彰する制度として新たに始めました。制度創設から多くの企業にご応募いただき、これまでに23社が受賞されております。

これまでの受賞企業の取り組みを見ると、厳しい経済環境の中においても、長期的視点で経営計画を策定し、業務プロセスの見直し、人材育成に取り組んでいることが共通点として挙げられます。また、政府でも働き方改革の実現に取り組んでおり、メディアからも注目されておりますが、残業時間の削減、仕事と家庭の両立、独自の福利厚生制度などにより、社員が安心して働ける環境整備にも取り組んでいることが挙げられます。今回、18年2月の表彰式で表彰された3社を、本日から28日にかけてご紹介したいと思います。

本日ご紹介させていただくのは、四国経済産業局長賞を受賞したシケン（徳島県小松島市）です。同社は、歯科技工物の製造・販売を行う会社です。全社員向け理念研修の実施による経営理念の浸透、従業員の意見を経営に反映させる取り組み、障がい者雇用への取り組み、個人で行われることの多い歯科技工を組織化することで労働生産性の向上を図った点が評価されました。また、国内だけでなく、フィリピンで歯科材料の製造や歯科技工物の製造・販売を行い、安定した供給力と確かな技術力で海外でも事業を展開して活躍する会社となっています。

同賞を通じて、今後もこうした社員や顧客、地域から必要とされる企業を発掘していきたいと思います。

四国でいちばん大切にしたい会社大賞とは

▼目的

社員や顧客、企業から必要とされ、「大切にしたい会社」と思われる企業等を発掘・表彰することにより、企業経営の新たな取り組みを後押しし、企業活動の活気づくり、ひいては四国地域の経済活性化に貢献すること。

▼応募資格

四国地域に所在する企業または民間団体とし、過去3年間、以下の「必須条件(1)～(5)」のすべてに該当し、かつ「その他条件(6)～(10)」のいずれかのうち2項目以上に該当していること。

必須条件

(1) 遵守すべき法律・規制などのコンプライアンス違反がない
(2) 人員整理、会社都合による解雇をしていない(自然災害の場合を除く)
(3) 死亡、障害・後遺症が残る等の重大な労働災害がない(自然災害の場合を除く)
(4) 下請企業・仕入先企業へのコストダウンを強制していない
(5) 黒字経営(経常利益)である(一過性の赤字の場合を除く)

その他条件

(6) 仕事と子育て・介護を両立するための就労制度(時間外労働の低減含む)を設けている
(7) 高齢者の就労機会を確保している(再雇用制度、定年の延長・廃止 等)
(8) 障がい者雇用を実施している
　(法定雇用率以上を達成または準ずる取組*があること)
　※障がい者就労施設からの商品やサービスを利用している等
(9) 社員満足度調査を実施したことがある
(10) 社会貢献・環境保全活動(寄付・ボランティア、環境配慮商品の取り扱い 等)を実施している

▼お問い合わせ

中小企業基盤整備機構四国本部
香川県高松市サンポート2-1　高松シンボルタワー　タワー棟7階
電話:087-811-3330　FAX:087-811-1753
担当　企画調整部　宮本(みやもと)

― 四国経済産業局長賞 ―

企業訪問インタビュー

株式会社シケン
島　隆寛　社長

歯科医療や人々の健康に貢献

全社員の豊かな人生 創出

―事業内容を教えて下さい。

「個人事業主が多い歯科技工所を企業化させたいという先代社長の思いから、1979年に法人化しました。歯科技工の全工程を習得するには長い期間を費やす必要がありますが、歯科技工の工程を分業化することで教育年数の短縮化を図り、営業部門を置いて製販分離することで歯科技工士が製造に専念できる体制を構築していることが特徴です。従業員数630人のうち約400人が国家資格を有する歯科技工士で、安定した供給力と確かな技術力で全国展開しています。グループ企業のクエストでは、フィリピンで歯科材料の製造や歯科技工物の製造・販売を行い、海外にも事業展開しています」

―2013年に経営理念を改訂していますが、その理由は。

「03年に社長に就任し、05年に『顧客満足を追求し、人々の健康に貢献するとともに、社員が誇りを持てる会社にする』という経営理念を制定しました。当時は当社も急成長している時期で、品質が荒れていたこともあり『顧客満足の追求』を第一に掲げていましたが、あるとき従業員の待遇を無視してまでも顧客満足を優先して良いのかという疑問を抱きました」

「そこで13年に『歯科技工業の企業化、組織化を通して、歯科医療の発展、人々の健康に貢献するとともに、全社員の豊かな人生を創出する』と、現在の経営理念に改訂しました。当社の『歯科技工所を企業化したい』という創業理念に原点回帰したとも言えますが、企業として組織化することで生まれてくる価値を追求することで、顧客や従業員、社会の役に立ち続ける企業でありたいという考えが根本にあります」

「このほかにも計画的な新卒採用を開始し、教育プログラムも確立しました。また仕事と子育てや介護の両立できるように、相談窓口を設けるなど社内体制も整備した結果、離職率は5%以下となり、安定雇用につながっています。顧客対応や品質などについて顧客満足度調査を2年ごとに実施していますが、近年良い点数を頂けるようになりました。従業員の満足度を高めることが、顧客満足の向上に直結することを実感しています」

―経営理念の共有に向けた取り組みは。

「事業の存在意義や使命を表す経営理念と、10年後のありたい姿を表す長期的なビジョン、その実現に向けた中期的な取り組みと単年度の計画が連動していることが重要で、日々の積み重ねが理念の実現につながっていくと考えています。それらをまとめた『経営指針書』を毎年更新し、全従業員に配布しています。記載内容に定期的に目を通し、各自の進捗を確認するよう指導しています」

「07年からは年1回、全社員を対象にした経営理念研修会を徳島、東京、大阪、高松で実施しています。会社の取り組みや業績報告の発表を通じて経営理念の浸透を図るとともに、従業員の意見を経営に反映させていくことが目的です」

―障がい者雇用にも積極的です。

「聴覚障がい者など、現在7人の歯科技工士が勤務しています。障がい者も待遇面の差はありません。社内に回転警告灯を設置して緊急時の情報伝達に利用するほか、業務上の細かい内容の説明には筆談ボードを活用しています。18年度からは経営理念研修会に要約筆記を取り入れました。以前に比べて研修に参加しやすくなったと好評です」

―今後の目標は

「14年に策定した経営計画『10年ビジョン』で、23年度のグループ売り上げ目標を100億円（17年度65億円）としており、それに向かって社員一丸となって取り組んでいきたいです」

【会社概要】

▽本社所在地＝徳島県小松島市、0885・32・2000▽資本金＝9975万円▽従業員＝630人▽設立＝1979（昭和54）年▽事業内容＝歯科技工物の製造・販売、歯科材料の販売、咀嚼（そしゃく）機能材料の研究・開発

㊤スローガンのもとに全社員が力を結集㊦経営理念研修会で議論を交わす

フィリピンでは歯科材料を製造し同社以外の歯科技工所にも販売

四国でいちばん大切にしたい会社大賞
過去の受賞企業

	表彰区分	受賞者
第７回 (29年度)	四国経済産業局長賞	(株)シケン(徳島県小松島市)
	中小企業基盤整備機構四国本部長賞	(株)世起(愛媛県松前町)
	奨励賞	高瀬電機(株)(愛媛県今治市)
第６回 (28年度)	四国経済産業局長賞	(株)ときわ(徳島県徳島市)
	中小企業基盤整備機構四国本部長賞	(有)ジェム(香川県観音寺市)
		(株)はなおか(徳島県北島町)
	奨励賞	医療法人ゆうの森(愛媛県松山市)
第５回 (27年度)	四国経済産業局長賞	(株)ありがとうサービス(愛媛県今治市)
	中小企業基盤整備機構四国本部長賞	坂東機工(株)(徳島県徳島市)
	奨励賞	(株)パワーネット(香川県丸亀市)
		(株)エヌビーエム(香川県宇多津町)
第４回 (26年度)	四国経済産業局長賞	四国管財(株)(高知県高知市)
	中小企業基盤整備機構四国本部長賞	(株)あわしま堂(愛媛県八幡浜市)
		(有)協同園収(香川県三豊市)
	奨励賞	市岡製菓(株)(徳島県小松島市)
第３回 (25年度)	四国経済産業局長賞	大豊産業(株)(香川県高松市)
	中小企業基盤整備機構四国本部長賞	ウインテック(株)(愛媛県東温市)
	奨励賞	(株)トーカイ(香川県高松市)
第２回 (24年度)	四国経済産業局長賞	日本食研ＨＤ(株)(愛媛県今治市)
	中小企業基盤整備機構四国本部長賞	(株)スワニー(香川県東かがわ市)
第１回 (23年度)	四国経済産業局長賞	徳武産業(株)(香川県さぬき市)
	中小企業基盤整備機構四国支部長賞	西精工(株)(徳島県徳島市)
	奨励賞	(株)ファースト・コラボレーション(高知県高知市)

中小機構 四国

「大切な会社」はここにある

2018イノベーション四国顕彰事業
第8回 四国でいちばん大切にしたい会社大賞

募集期間
平成30年
8月17日(金)～
10月16日(火)

問い合わせ
中小機構四国本部 企画調整部
TEL087-811-3330

四国でいちばん　検索